さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

令和元年10月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

今月の漢字

躍

躍動したくなる季節になりました

月の主題
思い切り身体を動かそう

今月の保育のねらい
戸外活動を十分に楽しみ、落ち着いてじっくりあそぶ / 集団あそびを楽しむ

秋ですよ～！

長月は、台風や秋雨前線の影響で小雨模様や曇り空の日が多かったような気がいたしますが、花屋の店先にはリンドウや吾亦紅が待ってましたと言わんばかりに飾られて、本番の秋をまっています。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、神無月を迎え、空は高く、青く、コスモスの群れが涼やかな風の思うままに大きく揺れ、秋明菊が白と薄紅の花をつけて、本格的な秋が始まることでしょう。

季節の変化を感じながら思い切り活動出来るように心配りをしていきたいと思います。

子どもに「本当の遊び」を！

子どもたちにとっての「本当の遊び」とは、**①戸外で遊ぶ②友達と遊ぶ③体を使って遊ぶ④自由に遊ぶの四条件**が揃わなければ、「本当の遊び」とは言えないのです。ですから、家の中で子どもが一人でテレビゲームをしているのは、本当に遊んでいるのではないのです。あれは、大人の真似をした退屈しのぎの「ひまつぶし」をしているのです。

子ども時代に、①戸外で②友達と③体を使って④自由にの四条件の揃った「本当の遊び」をしっかりしていれば、当然の事として体力もつきますし、友だちとの付き合いの中から、社会性・協調性なども自然に身につきます。

これからの人間社会で、生きていくのに最も大切なものは、いくら親や先生が口で教えても、けして教えられるものではなく、あくまでも本人の遊びの体験から身に付けるしかないのです。

最近は、小さい時から習い事や塾へ通わせる事が流行しているようですが、子ども時代にしっかりと体で覚えておいてもらわなければならない大切な事、人間として社会で生きて行くために、必要なことを身に付けずに大人になってしまう子どもたちが多いのは、非常に気になるところです。

繰り返しますが、子どもの仕事は「本当の遊び」をする事なのです。そして、「本当の遊び」を体験することにより、子どもたちはたくましく・心豊かに成長するのです。子どもに「本当の遊び」をさせてあげる事！！これがすなわち「子どもに優しい」という事なのです。

児童神経医の北畑秀樹氏は、子どもの園生活はダイヤモンドに匹敵するぐらい、貴重なものだと言っておられます。
石神井町さくら保育園で大切にしている保育方針と共感できる内容でしたので図書『子どもは育つ』の一部を抜粋してお伝えしました

10月　行事予定

日	曜日	内　容
1	火	身体計測（乳児） アートくらぶ（4歳児）
2	水	父母の会主催観劇会
3	木	身体計測（幼児）
8	火	おはなし会（幼児） さくらんぼくらぶミニ運動会
9	水	避難訓練 鮭&鰺の解体ショー（幼児）
10	木	秋の健康診断（全園児） 視力測定（4・5歳児）
18	金	お泊り保育(5歳児)
19	土	〃　※園舎清掃
22	火	即位礼正殿の儀　休園
29	火	アートくらぶ（4・5歳児）

3・10・24・31日⇒絵本の貸し出し
8・23日⇒さくらんぼくらぶ
2・23日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ
8日⇒さくらんぼくらぶふれあいランチ
18日⇒ニコニコフォト写真撮影日
1・2日⇒三原台中学校職場体験

季節にぴったりの絵本です

いつも仲良しの14ひきのねずみの家族。ページいっぱいに広がる秋の景色の中で、家族それぞれの行動を見るのも楽しいですよ。

運動会では多くの拍手やご声援をいただき、また、アンケートにもご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。
ありがとうございました。